

支援センター だより

栄町住民活動支援センター

4

2面…助成金情報
3面…「支援センター」って？
4面…インフォメーション

活力あるまちづくりを進める活動の拠点として

2012 No.117

福島に行ってきました。



まだまだガレキが・・・



全国から支援物資が届いてました



春はまだ花見山



何もない・・・

昨年5月から福島市npf法人「花見山を守る会」に支援物資を送っている緑道であそぼうかい（のら市）の皆さんと3月14、15日福島に行ってきました。花見山を守る会は震災後すぐ支援を始めましたが、昨年から福島県の委託で絆プロジェクトとして一緒に活動しています。物資が届きにくい借り上げ住宅の人の支援を中心に行っています。

また最近では物資を配るだけでなく被災者に対してバザーを行い、収益で孤児を支援しています。そのことで被災者も役に立っていると思うようになってきました。戸別訪問も行っていますが、借り上げ住宅の場合は情報が少ない

のこと。原発事故がなければ、のどかな田舎風景が広がる福島市渡利です。

2日目相馬市に行きました。海岸をバスで走っていると普通に家もあり、と思っていると、突然何もなくて広い原っぱ状態になります。テレビで見えていたのが、「360度何もない」は声がでません。基礎石とガレキ。1年たってもこの状態なんだと実感しました。普通に営業しているガソリンスタンドの方に聞くと、人の身長くらいまで津波がきたけど高い建物に逃げた。スタンドの壁に助けられたと話してくれました。宅地以外にもあぜ道も何もない広い黒い田んぼ跡（？）が続きます。ここで農業はもうできないのかなと思いました。

自分達に出来ることは長く支援を続けること、あの風景を忘れないでもう一度人が集う場所になることを願うばかりです。地震、津波、原発事故、行ってみてわかることも多い。
是非福島へ・・・

土のう袋にご協力を！

土のう袋に
メッセージを！



東松島市復興プロジェクトで個人ボランティアでガレキ処理を行っている方（安食台3丁目）からボランティアの方への応援として、土のう袋にメッセージを書いてほしいとの依頼がありました。活動団体や町民の方、栄町教育委員会の協力で各小中学校の生徒の皆さんへ思いやりプロジェクトの輪が広がっています。土のう袋は住民活動支援センター（ふれプラ1階）にあります。ご協力をお願いします。